

ケニア国  
医療技術教育強化プロジェクト  
運営指導調査団報告書

平成11年3月

国際協力事業団  
医療協力部

## 序 文

ケニア国医療技術教育強化プロジェクトは、1998年3月1日から2003年2月28日まで5年間の協力期間で、同国の医療技術教育レベル向上を目的に実施されているものです。1999年3月、協力開始後1年が経過し、上記技術移転について先方とも調整する必要が生じたところ、国際協力事業団は、本プロジェクト専門家の活動状況、相手国側の対応状況等を確認し、プロジェクト実施上の問題点把握と今後の対応策について両国双方で協議することとし、1999年3月6日から3月20日までの日程で国立公衆衛生院院長古市圭治氏を団長として運営指導調査団を派遣しました。本報告書はその調査結果を取りまとめたものです。

ここに本件調査にあたり、ご協力いただいた関係者各位に対し、深甚なる謝意を表しますとともに、プロジェクトの効果的な実施のために今後ともご指導ご鞭撻をお願いいたします。

平成11年7月

国際協力事業団  
医療協力部長  
福原毅文



保健省での協議



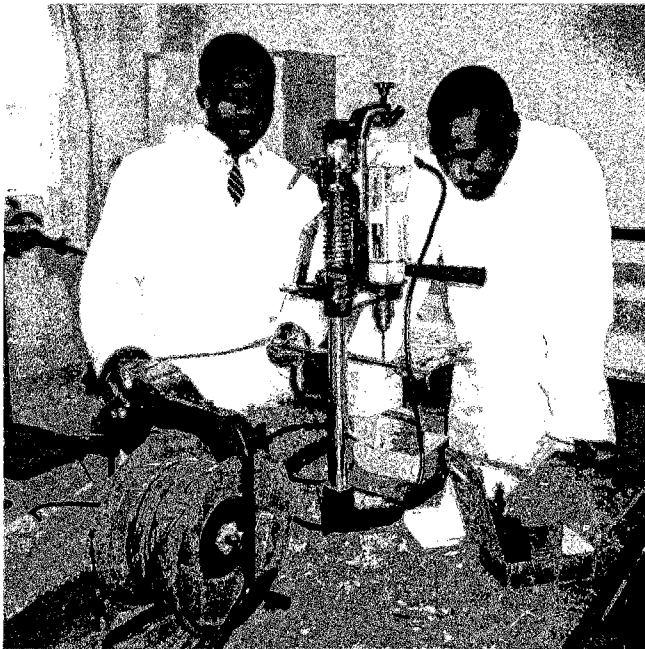
ケニア医療技術訓練学校校長、調査団長によるミニッツへの署名



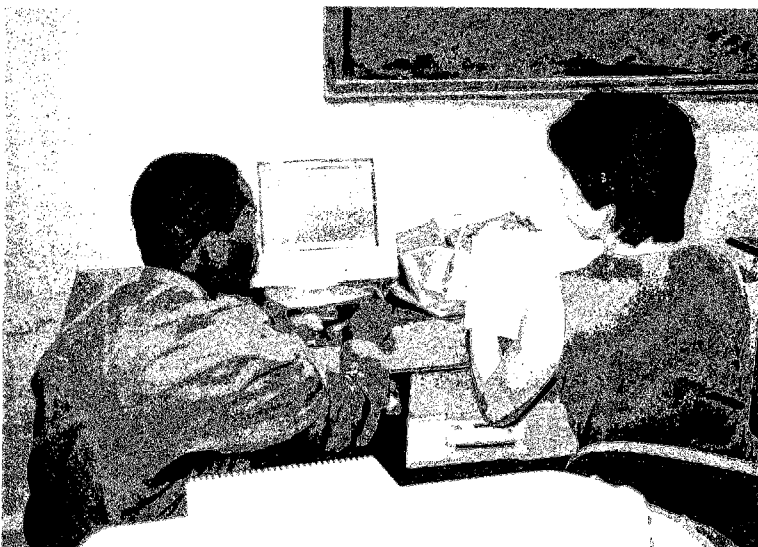
同上



プロジェクトに供与された  
車輦



無償資金協力で供与された機材  
を使つての実習



コンピューター実習

# 目 次

序 文

写 真

1 . 運営調査団派遣 .....	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的 .....	1
1 - 2 調査団の構成 .....	1
1 - 3 調査団日程 .....	2
1 - 4 主要面談者 .....	3
2 . 団長総括 .....	4
3 . 暫定実施計画の進捗状況 .....	6
3 - 1 協力部門活動 .....	6
3 - 2 専門家派遣 .....	7
3 - 3 カウンターパート研修員受入れ .....	7
3 - 4 資機材供与および利用状況 .....	8
3 - 5 ローカルコスト負担事業 .....	8
4 . 暫定実施計画および詳細年次計画 .....	9
4 - 1 暫定実施計画の改訂について .....	9
4 - 2 専門家派遣 .....	10
4 - 3 カウンターパート研修受入れ .....	10
4 - 4 供与機材 .....	10
5 . 実施運営上の問題点 .....	11
附属資料 .....	13
ミニッツ .....	15

# 1 . 運営指導調査団派遣の経緯

## 1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

ケニア共和国（以下ケニア）は、医師以外の各種医療技術者の養成機関として、ケニア医療訓練学校（以下K M T C）を1927年に設立し、以後同校は地方校の拡張により、今日ではケニア国内の地域保健にたずさわる医療従事者の90%を養成するに至っている。しかしながら、1980年以降のケニアの経済状態の悪化はK M T Cにも影響を及ぼし、施設・医療機器等の老朽化から、質の高い医療技術教育が十分に行えないことが大きな問題となった。このような状況から日本政府はケニア政府に対し無償資金協力によるK M T C本校の改修および医療機器・教育用機材整備を行い、1998年3月に完工した。本校の改修を機に、ケニア政府は、教官の質的向上を図るとともに医療訓練校として質の高い医療教育を提供する目的でプロジェクト方式技術協力を要請し、1998年3月にプロジェクトを開始した。1998年3月のプロジェクト開始から1年近くが経過し、上記実施協議のなかで合意された暫定実施計画に基づき協力が進行中である。プロジェクト開始後、長期（チーフアドバイザー、業務調整、看護教育、情報管理）と短期（看護教育、公衆衛生/現状分析、プレゼンテーションスキル、PCM、学校運営、栄養学、供与機材促進）の専門家が派遣された。また11月に本校の教員を対象とした4週間の中堅技術者養成研修を開催した。

については、1999年3月にプロジェクト開始後1年を迎えることから、1年間の協力活動と実績を見直し、今後の計画についての展望を先方と協議するために、運営指導調査団を派遣した。進捗状況の把握とともに、暫定実施計画をもとにして先方関係者と今後の協力計画について協議を行い、実施計画の修正を行った。

## 1 - 2 調査団の構成

担 当	氏 名	所 属
団長/総括	古市 圭治	国立公衆衛生院 院長
協力計画	長谷川 豊	国際医療福祉大学 教授
業務調整/公衆衛生	相川 律子	J I C A 医療協力部ジュニア専門員

### 1 - 3 調査団日程

日順	月 日	曜日	移動および業務		備 考
			古市団長、長谷川団員	相川団員	
第1日	3月6日	土	成田発JL411便12h20 アムステルダム着16h35 アムステルダムKL4341便23h00		
第2日	3月7日	日	ナイロビ着KL4341便09h25		ナイロビ着 ナイロビ泊
第3日	3月8日	月	午前：団内打合せ、大使館表敬、JICA事務所表敬 午後：大蔵省表敬、保健省、KMTC表敬		ナイロビ泊
第4日	3月9日	火	午前：日本人専門家との打合せ（長谷川団員・相川団員）/ KEMRI視察（古市団長） 午後：地方保険医療施設の視察（マラグア）		ナイロビ泊
第5日	3月10日	水	午前：KMTC、C/Pおよび専門家との協議（活動計画検討） 午後：KMTC、C/Pおよび専門家との協議（総括）		ナイロビ泊
第6日	3月11日	木	午前：Joint Coordinating Committee Meeting 午後：ミニッツ準備		ナイロビ泊
第7日	3月12日	金	午前：ミニッツ署名 午後：JICA事務所報告		ナイロビ泊
第8日	3月13日	土	資料整理		ナイロビ泊
第9日	3月14日	日	ナイロビ発KL4340便 10h10 アムステルダム着 17h10	資料整理	古市団長、長谷川団員： アムステルダム泊 相川団員：ナイロビ泊
第10日	3月15日	月	アムステルダム発 JL412便19h30	USAID事務所表敬、 Bungoma、Kagamega視察、	相川団員：ナイロビ泊
第11日	3月16日	火	成田着14h40	保健省PHC部表敬、	
第12日	3月17日	水	/	Karen College訪問	相川団員：ナイロビ泊
第13日	3月18日	木		午前：報告書作成 午後：JICA事務所報告（相川） ナイロビ発AF981便 23h30	相川団員：機内泊
第14日	3月19日	金		パリ着06h15 パリ発JL406便19h25	相川団員：機内泊
第15日	3月20日	土	成田着15h10		

## 1 - 4 主要面談者

### (1) ケニア側

#### 1 ) 保健省

Mr. P. MWAISAKA, E.B.S., S.S. Permanent Secretary

Mr. C.I. SHAKABA Deputy Secretary / Development

#### 2 ) 大蔵省

Mr. J. K. KINYUA Financial Secretary

#### 3 ) ケニア医療技術訓練学校

Mr. W. K. A. BOIT Director

Mr. P. TUUKUO Duputy Principle

Ms. A. KIMEU Project Coordinator

Ms. G. KOYENGO Head of Faculty, Clinical Medicine

Ms. A. BWIKA Head of Faculty, Nursing

Mr. E. CHEGE Head of Faculty, Environmental Health Science

Ms. M. KIBE Head of Faculty, Health Records & Information

Ms. C. NKONGE Head of Faculty, Medical Education

### (2) 日本側

#### 1 ) 在ケニア日本国大使館

Mr. Y. ARAKAWA Minister- Counsellor

Mr. H. KAWATO Embassy Official

#### 2 ) J I C A ケニア事務所

Mr. E. HASHIMOTO Resident Representative

Mr. A. MATSUMOTO Deputy Resident Representative

Mr. Y. KURAHINA Official in Charge

#### 3 ) 日本人専門家

Mr. T. YAMASAKI Chief Advisor

Mr. K. KANEMARU Project Coordinator

Ms. I. SEKI Nursing Education

Ms. Y. HONDA Information Management



## 2 . 団長総括

今回の調査団の目的は、本プロジェクトが開始されて1年を迎えることから、現地において1年間の活動実績と事業の進捗状況を調査把握し、今後の計画と展望について、先方関係者と協議し、必要に応じて暫定実施計画（T S I）の見直しを行い、先方との合意をみたうえで修正することであった。

調査団は、ケニア医療訓練学校（K M T C）本校と分校および関連施設を訪問視察し、ボイド学長はじめ本プロジェクト関係幹部職員と、これまでの活動の評価と今後のプロジェクトに対する要望等について、率直な意見交換を行った。これらの協議の結果、今後、本プロジェクトをいっそう円滑に推進していくためには、T S Iおよびそれに伴う活動計画の一部を改訂することが望ましいとの結論に達し、必要な修正を行ったうえ、ミニッツについて署名交換を行った。総括的事項としては以下のとおりである。

- (1) 調査に先だって行われた国内委員会において、ケニア側の自助努力の欠如と、中堅技術者養成研修に対する1999年度以降生じるケニア側の財政的負担が、確実に実行されるか否かについて危惧する向きがあった。しかし、今回の視察、協議を通じて、先方の本プロジェクトに対する期待と熱意は十分に感じられ、中堅技術者養成研修の負担についても今回のミニッツにおいて再度確認された。
- (2) T S Iの修正点は、調査研究技術向上のための事業強化を明示したことである。マスタープランにおいて、「教育カリキュラムの改善のための調査研究」がプロジェクトの主要事業として掲げられており、これに基づいてT S Iが策定されている。しかし、調査研究能力の向上は教育カリキュラム改善の分野のみに限らず、教育担当者にとっては必須の要件であり、1年間の活動を通してこの点がより明らかとなったため、今回の修正により「調査研究の知識と技術の向上」についても事業として明示することとした。教員の調査研究事業への支援については先方より強い要請があり、山崎チーフアドバイザーからも本プロジェクトの発展のために実施計画の修正の必要性が指摘されていたものである。今回の修正によって、今後の事業の円滑な推進が図られるものと思う。ただし、ここで特に注意すべき点は、調査研究が「研究のための研究」にならないことである。調査研究は、地域住民の健康水準の向上をめざしたCommunity Based Researchを中心とし、これらの成果がK M T Cにおける教育内容・技法の改善に反映されるように、調査研究の対象、テーマの選定にあたっては、十分注意することが大切である。また、これらの事業は実施協議においてSelected Fields

(Clinical Medicine, Nursing, Environmental, etc.)について実施されることになっている。実施分野の拡大について検討されたが、必要ならばその他(etc.の部分)で対応可能なことから、ミニッツにおいてケニア側の要請として記録するにとどめた。

(3) K M T Cにおける教科書・教材の整備に関して、山崎リーダーから印刷製本機器の必要性が強調された。この点については事前の国内委員会においても検討されたが、すでに人口教育促進プロジェクト( ) ( ) (以下、PEPP)で技術移転が行われており、その成果を活用すべきではないか、機器を導入しても維持管理に支障をきたし十分な活用ができないのではないか等の意見が出された経緯がある。今回の協議では、PEPP活用の可能性、機器のコスト、維持費、教材の制作費などについて、早急に調査し、それらの資料に基づいて改めて検討することとされた。個人的な考えとしては、学生に講義テキストが印刷配布される体制(用紙代も含めて)をつくるのが優先され、次いでそれらの講義録から教科書が作成されてくるのではないかと思う。また、教材の整備については、図書、教科書以外にも、日本では人体模型、医学関係の各種ビデオ等、優れた教材が数多く製作されており、資料カタログを集めて、これらの活用方法について検討されることを提案する。

(4) 中堅技術者養成研修は、初年度の講義中心の1ヵ月研修から、2年度は実施研修を含めて4ヵ月に拡大することが予定されている。その内容については、今後担当委員会において検討されることであろうが、現在のところ具体的な実施方法はほとんど決まっていない。研修カリキュラム、時間配分、実地研修の地域の選定、調査研究テーマ、方法、担当指導教官の決定、さらには宿泊施設、予算など準備にかなり時間を要することから、早急に協議を始める必要がある。2年度の研修は「調査研究技術」が課題としてあげられているが、本研修の企画実施にあたっては、わが国の国立公衆衛生院において長年実施してきた「合同臨地訓練」の方式が参考になるものと思う。

(5) 本プロジェクトの目的を達成するために、感染症対策プロジェクトを始め、他の機関で実施される事業と協力連携をすすめる必要があることが合意され、ミニッツに加えられた。現在のところ、それぞれ独立したプロジェクト・調査として進行しているが、両者の目的は共通しており、将来共同して調査研究を事業発展させていくことも考えられる。近い将来、寄生虫対策が開始されることになれば、K M T Cへの協力も要請されることになろう。本事業の主体性が十分に尊重されたうえで、他事業との協力連携が発展することを期待する。

### 3 . 暫定実施計画の進捗状況

#### 3 - 1 協力部門活動

##### (1) 教育方法と教材作成についての教員研修実施について

看護分野の長期専門家が、看護学分野の教育方法と教材についての現状分析を実施した。「看護学」は、暫定実施計画（T S I）の当初期間における重要協力分野のひとつである。したがって、長期専門家が1998年7月1日から2年間の予定で赴任、また、短期専門家が1998年8月30日～9月12日に派遣され、プロジェクト開始のかなり早い時期に看護学分野協力の基本構想についてケニア医療訓練学校（K M T C）側と協議したことは、非常に有意義であった。長期専門家はまず詳しい現状分析を行い、教育方法については基本的には問題はないものの実習の指導方法が現場任せであるため、その改善を今後の活動の重点のひとつとしている。教材作成については、1999年度にO A 機器が導入されるので、それを待って開始する。また、1998年11月に実施した中堅技術者養成研修における“Presentation Skills”研修の実施に、日本から短期専門家を派遣した。協力開始年のカウンターパート研修（分野：コンピューター、期間：1998年3月31日～7月7日）のなかに、教材作成の基礎技術の指導も含まれていた。

##### (2) 臨床医学、看護学、環境衛生等の教育カリキュラム改善のための研究の実施

協力初年度は、チーフアドバイザーを中心として、関係部門の研究についての考え方、意欲等を調査し、進め方を模索する1年であった。K M T Cでの“RESEARCH”について、現実的なステップとしては、調査・研究方法（特に、公衆衛生学的調査方法）について研修する“Research Training”をまず実施したらどうかという観点から、今回のミニッツでT S Iの改訂を行った。

##### (3) 教材の開発と改善

協力初年度はこの分野についても模索の期間であった。学生が教科書や教材をほとんど持っていない現状から、安価な教材の開発はきわめて重要である。初年度において、ひとつのモデルとして「解剖学/生理学」の教科書が制作されたが、この方式では500部印刷して50万円（1部；1000円）もかかり、この国では現実的ではない。ほとんどの教員は、教科書のもととなる「ノート」を持っており、それを黒板に書いて学生はそれを写している。第2年度は、この「ノート」を原稿として、安価に教科書や教材を作成する方法について調査し、方針を確立する必要がある。

### 3 - 2 専門家派遣

年度当初に要請のあった教材作成分野の短期専門家の派遣は、短期専門家の代わりに医療協力部で実施中のケニア人口教育促進プロジェクトの印刷部門カウンターパートを講師として招聘した。また中堅技術者養成研修に学校運営分野の専門家の要請が出され、必要が認められ、当初の予定には入っていない分野であったが派遣することとなった。本プロジェクト開始後の専門家派遣実績は以下のとおりである。

#### ・長期専門家

チーフアドバイザー	山崎統四郎	国際福祉医療大学	1998年3月4日～1999年2月28日
業務調整	金丸 晃治	CDCインターナショナル	1998年3月1日～2000年2月29日
看護教育	関 育子	なし	1998年7月1日～2000年6月30日
情報管理	本多 安代	成和工業	1999年1月9日～2001年1月8日
チーフアドバイザー	大沢 伸孝	医療福祉総合研究所	1999年3月21日～2000年3月20日

#### ・短期専門家

公衆衛生/現状分析	綿引 信義	国立公衆衛生院	1998年8月3日～1998年9月11日
看護教育	荒井 蝶子	国際福祉医療大学	1998年8月30日～1998年9月12日
プレゼンテーションスキル	細井良一郎	国際福祉医療大学	1998年11月14日～1998年11月29日
P C M手法	兵井 伸行	国立公衆衛生院	1998年11月14日～1998年11月29日
運営指導	高木 邦格	国際福祉医療大学	1998年10月30日～1998年11月9日
供与機材利用促進	渡邊 征夫	国立公衆衛生院	1999年3月22日～1999年4月18日
栄養学	力丸 徹	国際協力専門員	1999年3月11日～1999年4月6日

### 3 - 3 カウンターパート研修員受入れ

看護（手術室看護）	M. C. NGENCY	1998年3月23日～1998年9月19日
コンピューター	A. N. KIMEU	1998年3月31日～1998年7月7日
運営管理	W. K. A. BOIT	1998年6月7日～1998年6月21日
看護教育	M. MUENDO	1999年2月22日～1999年7月4日
保健情報	K. H. B. MWADIME	1999年3月1日～1999年8月24日
教材制作/放射線技術	D. A. BWONYA	1999年3月8日～1999年9月3日

### 3 - 4 資機材供与および利用状況

1998年度供与機材費として約4千万円の機材が2回に分けて供与されている。第1回調達として、車輛2台とプロジェクトオフィスの整備に必要な機材を供与した。また、第2回調達として、教員研修用機材、視聴覚教育用資機材、研究用資機材、教材制作用資機材を供与した。第1回分のすべての機材と第2回分の一部がすでに購入され、良好な状態で活用されている。機材を設置する校舎が老朽した部分では安全管理面、電気供給面で問題があるので、機材は無償資金協力で改築された校舎に設置されている。本来は保健情報統計部に位置する情報管理部門は、校舎が古いので、医学教育部の校舎にコンピュータールームを開設し、第2回調達で16台を設置した。(附属資料 p23)

### 3 - 5 ローカルコスト負担事業

1998年度のプロジェクト活動費は、主に日本側が負担した。保健省の予算が削減傾向にあり、プロジェクト開始にあたって必要な施設の整備にかかわる部分は、日本側の予算に頼らざるをえなかった。ケニア側の負担としては、プロジェクトに配置したカウンターパート、秘書、運転手の給与、プロジェクトオフィス、専門家オフィスの設置、プロジェクト運営にかかわる水道、光熱費等である。また、1998年度の中堅技術者養成研修の前に、研修生の宿泊施設として利用する学生寮の改修工事はK M T Cが行い、研修事業に役立てた。2年目から日本側の負担が減少していくが、これに関してはK M T C側が減少分を補いプロジェクトの運営にあたるのが、今回の運営指導調査でケニア側との間で確認することができた。

## 4 . 暫定実施計画および詳細年次計画

### 4 - 1 暫定実施計画の改訂について

運営指導調査で、現在までの1年間の協力活動の進捗状況を調査し、今後の展開について先方関係者と協議を行い、暫定実施計画(TSI)を見直した結果、双方合意のうえ、プロジェクトデザインマトリクス(PDM)のなかで以下の2点を改訂し、活動計画を見直し、5点について詳細を定めた。また、合意には至らなかったが、ケニア側から提出された要望のうち3点についてもミニッツに加え、調査団はケニア側の意向を日本政府に伝えることとした。またカウンターパートがプロジェクトに関する業務を行い、休日出勤や残業を行った場合に報酬をプロジェクトの活動費として支払ってほしいと要望が出されたが、協議を経て、ケニア保健省内で対応することで合意を得た。

#### (1) 改訂部分

調査研究能力はカリキュラム改善に関連したものに限らず、教員にとっては必須条件であり、今回の修正により、プロジェクト成果の「教育カリキュラム改善のための調査研究を行う」項目から「調査研究の知識と技術の向上」を項目を新たに設け明示した。ただし、ここにある調査研究は、「研究のための研究」ではなく住民の健康水準の向上をめざしたCommunity Based Reseach となるようにテーマの選択については十分に検討することが必要である。

ケニア医療訓練学校(KMTC)の施設内に限らず、Rural Health Training Center等の関連施設を利用すること、教員以外に卒業生も研修に参加することからIn-service trainingと標記されている部分をContinuing Education Programme に変更した。

#### (2) 活動計画の見直し

教材制作に必要な機材供与について詳細な調査を行う。

中堅技術者養成研修のケニア側の負担は毎年20%増額する。

カウンターパート研修生の帰国後の配属はプロジェクトと関係をもたせる。

プロジェクト活動中および終了後、KMTCは供与機材の維持管理に必要な予算措置を行う。

他のプロジェクトや他のドナーとの連携を促進する。

### (3) ケニア側からの要望

短期専門家の派遣期間を1ヵ月以上とする。

図書や教材教具の整備を行う。

開始時に設定した協力活動分野を拡大する。

## 4 - 2 専門家派遣

長期専門家については、現在のところ、チーフアドバイザー、業務調整員、看護教育、情報管理分野の専門家を派遣している。今回の運営指導調査でケニア側からその協力分野を拡大するように要求が出された。

1999年度の中堅技術者養成研修は、研究方法論、地域密着型研究を主要なテーマとしたプログラムが予定されている。本研修にあわせて、公衆衛生分野、臨床医学（小児保健）、研究手法の短期専門家派遣を予定している。また、教材制作については、ローカルコストに関する調査結果に基づき、必要が認められれば専門家を派遣するとした。その他、図書整備にかかわる司書の派遣を予定している。

## 4 - 3 カウンターパート研修受入れ

協力期間中、年間3名の受入れを予定している。その他、個別第三国研修、機材保守管理集団研修、長期研修員制度を利用することも検討されている。1999年度以降の研修員は、臨床医学、環境衛生、学校運営、看護教育、栄養学、コンピューター技術分野から受入れを予定している。主な受入機関は、国内支援機関である国立公衆衛生院と国際医療福祉大学を中心とした機関を予定している。

## 4 - 4 供与機材

プロジェクト協力期間中、年間3000万円をめやすに機材を供与する予定であり、1998年度はプロジェクト活動に必要な車輛、プロジェクトオフィスを開設するのに必要な機材を供与した。1999年度は、教員用図書、視聴覚教材、実習用機材、研究用に用いるパーソナルコンピューター等の機材を供与する予定である。2000年度以降の機材供与に関しては、プロジェクトの進捗状況により事情が異なってくるので、特に議題としなかった。

## 5 . 実施運営上の問題点

- (1) 1998年度の活動を振り返ると、専門家の派遣とプロジェクトオフィスの整備が遅れたために、プロジェクト全体としての進捗度に若干の遅延がみられた。専門家の派遣については、医療協力部内、国内支援機関を中心として早い段階に人選を進める必要がある。また、プロジェクトオフィスの整備については、ケニア側が負担する部分であることを再三にわたり要求した結果、プロジェクトオフィスと専門家の執務室の環境が整いつつある。
- (2) プロジェクト開始前の研修員の選定が、プロジェクトの本旨に即していない分野（集中治療看護）であったこと、帰国後の配置が地方校やプロジェクト事業とはかかわりがなかったことは、ケニア医療訓練学校（K M T C）側の研修員選考の過程に問題があったと思われる。今後の選考に関しては、K M T C側が十分に研修の意図を理解し人選を行うこと、帰国後の研修員がプロジェクト事業に積極的に関与できるように配置することが必要である。
- (3) 協力対象となっている本校は改築されたばかりであるが、電気と水の供給が不安定で、盗難の恐れがある。コンピューター等の供与機材の管理については十分な注意喚起が必要である。





## 附属資料

### ① ミニッツ

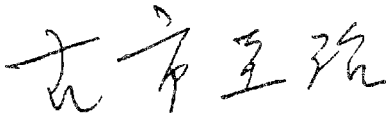


**THE MINUTES OF THE MEETING  
BETWEEN THE JAPANESE ADVISORY STUDY TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF KENYA  
O N  
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE KENYA MEDICAL  
TRAINING COLLEGE PROJECT**

The Japanese Advisory Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Keiji FURUICHI, visited the Republic of Kenya from March 8 - 13, 1999, in order to study the details of the technical cooperation programme concerning the Kenya Medical Training College Project (hereinafter referred to as "the Project") on the basis of the Tentative Schedule of Implementation (hereinafter referred to as "TSI") and the Record of Discussions (hereinafter referred to as "RD") signed on January 27, 1998.

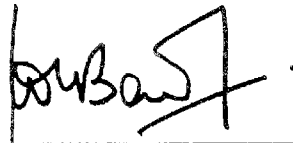
During its stay in the Republic of Kenya, the Team held a series of discussions, made observations and exchanged views with the authorities concerned of the Government of the Republic of Kenya. As a result of the discussions, both parties agreed upon the matters referred to in the documents attached hereto.

Nairobi, Kenya  
March 12, 1999



Keiji FURUICHI, M.D., Ph.D.  
Leader

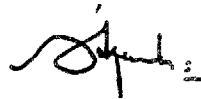
Japanese Advisory Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



William K. A. BOIT  
Director  
Kenya Medical Training College  
Republic of Kenya



Philemon E. MWAISAKA, E.B.S., S.S.  
Permanent Secretary  
Ministry of Health  
Republic of Kenya



Joseph K. KINYUA  
Financial Secretary  
Ministry of Finance  
Republic of Kenya



**I. BACKGROUND OF THE PROJECT**

The Project started on March 1, 1998, with cooperation period of five years. The Project is implemented by the Kenya Medical Training College (hereinafter referred to as "KMTC") in cooperation with JICA. The purpose of the Project is to improve the educational capacity of the teaching staff in KMTC.

The Joint Coordinating Committee meeting was held on March 11, 1999, to review the Project activities and to formulate an annual work plan. Thus, based on the common recognition of the present state of the Project, both sides confirmed the continuous cooperation between the Japanese and Kenyan governments for further progress of the Project.



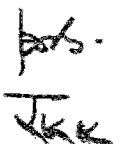
## II. REVIEW OF THE PROJECT ACTIVITIES

In accordance with the RD signed on January 27, 1998, by both sides, JICA has dispatched 9 experts (including 5 short term experts) to Kenya and has accepted 6 Kenyan counterparts in Japan, and also has taken necessary measures to provide equipment to facilitate the implementation of the Project (see ANNEXES 1, 2 and 3) during the period from March 1, 1998, to March 12, 1999.

Since the beginning of the Project, various activities including a baseline survey and a middle-level manpower training have been conducted in KMTC.

According to the TSI signed on January 27, 1998, actual outputs and activities implemented were reviewed and summarized as follows:

1. Offices equipped with telephones were provided for long-term experts and coordinators for the Project in KMTC-Nairobi.
2. A situational analysis was conducted with the cooperation of the teaching staff of KMTC and identified their needs in:
  - (1) Improvement of computer literacy in teaching staff
  - (2) Higher academic qualifications
  - (3) Improvement of research work
  - (4) Updating of teaching aids and materials
  - (5) Improvement of existing curricula.
3. Middle-level manpower training programme for KMTC teaching staff was undertaken from November 2 - 27, 1998. In order to give feedback on the outcome of this training programme to other staff, a seminar was conducted by the Faculty of Nursing.
4. A textbook was published as a model and all the processes of publication were recorded for future reference.
5. An analysis of the current curricula started in the Faculty of Nursing.
6. A computer room was prepared and 15 computers installed.
7. A training course was started to produce computer instructors.



### III. SUMMARY OF DISCUSSIONS

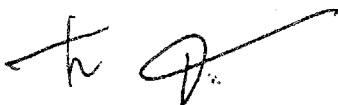
1. Both sides agreed upon the following matters:

- (1) To revise TSI, the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") and a summary of activities in FY 1999 to further facilitate the Project activities.
- (2) To survey the production facilities and equipment of teaching materials.
- (3) To increase the amount of the budget for the middle-level manpower training to be borne by the Kenya Government through KMTC by 20% annually.
- (4) To deploy counterparts in the activities related to the Project after their training in Japan.
- (5) To make financial appropriation by KMTC for maintenance of teaching equipment provided by the Project during and after the Project period .
- (6) To collaborate with other institutions and donor agencies to fulfill the Project objectives.

2. The Kenyan side requested the Japanese side for its consideration on the following matters:

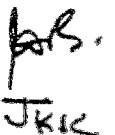
- (1) Extension of short-term expert's duration of service to be of at least one month for effective technology transfer.
- (2) Improvement of library related services to facilitate reference materials for teaching.
- (3) To expand the Project activities to other fields than those specified in RD.

3. The Advisory Study Team promised to convey the above-mentioned requests from the Kenyan side to the authorities concerned in Japan for consideration.



#### IV. REVISED PLAN OF THE PROJECT ACTIVITIES

According to the agreement made by both sides as mentioned in III. 1. (1), TSI, PDM and a summary of activities in FY1999 were revised and those revised are shown in ANNEXES 4, 5 and 6.

A handwritten signature in black ink, consisting of a stylized 'h' followed by a long horizontal stroke that curves upwards at the end.Handwritten initials in black ink, appearing to be 'JRS.' above 'JKK'.



V. ANNEXES

ANNEX 1. Dispatch of Japanese experts

- (1) Long term experts
- (2) Short term experts

ANNEX 2. Training of Kenyan personnel in Japan

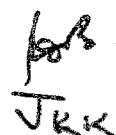
ANNEX 3. Provision of machinery and equipment

ANNEX 4. Tentative Schedule of Implementation (Revised)

ANNEX 5. Project Design Matrix (Revised)

ANNEX 6. Summary of activities in FY1999 (Revised)

ANNEX 7. List of participants of Joint Coordinating Committee meeting held on Thursday, March 11, 1999



ANNEX 1

Dispatch of Japanese experts

(1) Long-term experts

NAME	FIELD	TERM
Toshiro YAMASAKI	Chief Advisor	01.03.1998-31.03.1999
Koji KANEMARU	Coordinator	01.03.1998-29.02.2000
Ikuko SEKI	Nursing education	01.07.1998-30.06.2000
Yasuyo HONDA	Information management	09.01.1999-08.01.2001

[Expected long-term expert]


Nobutaka OSAWA	Chief Advisor	21.03.1999-20.03.2000
----------------	---------------	-----------------------

(2) Short-term experts

NAME	FIELD	TERM
Nobuyoshi WATAHIKI	Public health/Data analysis	03.08.1998-11.09.1998
Choko ARAI	Nursing	30.08.1998-12.09.1998
Kuninori TAKAGI	Institutional management	30.10.1998-09.11.1998
Ryozo HOSOI	Presentation skill	14.11.1998-29.11.1998
Nobuyuki HYOI	Project cycle management	14.11.1998-29.11.1998

[Expected short-term experts]

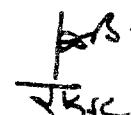

Toru RIKIMARU	Nutrition	11.03.1999-06.04.1999
Ikuo WATANABE	Equipment utilization	22.03.1999-18.04.1999



ANNEX 2

Training of Kenyan personnel in Japan

NAME	FIELD	TERM
Monica Chepkemei NGENY	Nursing and intensive care for community health	23.03.1998-19.09.1998
Anastasia Nyamilu KIMEU	Computer technology	31.03.1998-07.07.1998
William Kiplumbei Argut BOIT	Management of medical training institutions	07.06.1998-21.06.1998
Mueni MUENDO	Theatre nursing	22.02.1999-04.07.1999
Kiwinga H.B. MWADIME	Health information and statistics	01.03.1999-24.08.1999
David Arthur BWONYA	Radiological technology	08.03.1999-03.09.1999



ANNEX 3

Provision of machinery and equipment

Fiscal Year 1998

*First purchase*

One vehicle(station wagon), one photocopier and consumables, one binding machine and consumables, five computers (main unit, display, screen, keyboard,cover) , four printers, one network printer, nine UPSs, one package of software, ten packets of floppy diskette, five computer tables and chairs, one fax machine and consumables, one vehicle (mini bus) is expected.

Total: 15,639,000 Japanese yen

*Second purchase(expected according to approved quantities)*

Computer (main unit, display, screen, cover, keyboard), printer, computer desk and chair, UPS, binocular microscope, slide projector, copy printer, refrigerator, ECG, baby incubator incubator, hot air oven, TV monitor with stand, overhead projector with screen, white board, filing cabinet, video projector, electric typewriter, binding machine, flip chart board, digital video camera, camera, book shelf, etc.

Total: 24,062,000 Japanese yen(expected)



Handwritten initials/signature in the top right corner.

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION(REVISED)

ANNEX 4 [12 March, 1999]

KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE PROJECT

Year	1998												1999												2000												2001												2002											
	JFY1998												JFY1999												JFY2000												JFY2001												JFY2002											
Japanese Fiscal Year	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13								
<b>(1) To conduct training of teaching staff in educational methods and production of teaching materials</b>																																																												
1. Identify training needs																																																												
2. Implement following continuing education programmes on educational methods																																																												
a. Middle-level manpower training course																																																												
b. Computer training programmes																																																												
3. Implement seminars on educational methods and evaluation																																																												
4. Implement workshops on production of educational materials																																																												
5. Implement lecture research																																																												
6. Evaluate sustainability of continuing education programmes																																																												
<b>(2) To review educational curricula in selected fields</b>																																																												
1. Carry out needs assessment/analysis																																																												
2. Review and update existing curricula																																																												
3. Implement revised curricula																																																												
4. Evaluate revised curricula																																																												
<b>(3) To upgrade teaching staff on research knowledge and skills in selected fields</b>																																																												
1. Carry out needs survey of research training																																																												
2. Plan and implement research training																																																												
3. Report on research training outcome																																																												
4. Establish sustainability of research training																																																												
<b>(4) To develop and disseminate educational materials</b>																																																												
1. Carry out needs survey and analysis on educational materials																																																												
2. Acquire reference text books																																																												
3. Conduct following trainings on production of educational materials																																																												
a. Training on production skills of printing materials																																																												
b. Training on production skills of audio-visual materials																																																												
4. Develop and disseminate educational materials																																																												

Handwritten signature and initials on the right side of the table.

John  
J.K.K

**ANNEX5. PROJECT DESIGN MATRIX (REVISED)**

Project Structure (Narrative Summary)	Indicator of Achievements	How Quantified and Assessed (Means of Verifications)	Important Assumptions and Risks
<p><b>(Overall Goal)</b> Competent co-medical personnel are produced in the Republic of Kenya.</p>	<p>Improved quality of health services provided by co-medical personnel</p>	<p>1. Health facility utilization reports 2. Clients satisfaction surveys 3. Action plans, quarterly and annual reports</p>	<p>Economic and political situation in the Republic of Kenya is stable.</p>
<p><b>(Project Purpose)</b> The educational capacity of teaching staff in KMTC is improved.</p>	<p>1.Guidelines of continuing education programmes 2.Percentage of teaching staff of KMTC who have been trained 3. Utilization of developed educational materials</p>	<p>1.Continuing education policy documents including guidelines, procedures and forms. 2. Annual reports of continuing education programmes including subjects and list of teaching staff 3. Faculty records on developed educational materials in KMTC</p>	<p>Role and function of KMTC as main source of co-medical personnel in Kenya will not change.</p>
<p><b>(Outputs/Results)</b> 1. Continuing education programmes for teaching staff are developed. 2. Educational curricula are improved. 3. Reseach skills are improved. 4. Pedagogical skills of teaching staff in KMTC including production skills of educational materials are strengthened.</p>	<p>1. Contents and frequencies of continuing education programmes 2. Contents of educational curricula 3. Number and contents of reasech activities carried out 4. Number of educational materials developed and produced</p>	<p>1. Number of annual reports of continuing education programmes including subjects and list of teaching staff 2. Educational curricula records in KMTC 3. Number of reports of reseach activities carried out 4. Inventory of educational materials</p>	<p>a. Trained teaching staff will continue to work in KMTC. b. Educational materials and pedagogial skills will be disseminated within KMTC.</p>

John  
J.K.K

bs.  
JKK

(Activities)	(Inputs)		
1. Conduct training of teaching staff in educational methods and production of teaching materials. 2. Review and update educational curricula in selected fields. 3. Upgrade teaching staff on research knowledge and skills in selected fields. 4. Develop and disseminate educational materials.	<b>Japanese side</b>  1. Dispatch of Japanese Experts : Long term Chief advisor (60M/M) Coordinator (60M/M) Nursing/others (60M/M) Management Information System/others (60M/M)  : Short term: when necessity arises for the smooth implementation of the Project  2. Counterpart training in Japan 3. Provision of machinery and equipment	<b>Kenyan Side</b> 1. Provision of land and facilities for the Project  2. Counterparts (Kenya Medical Training College): Project manager (60M/M) Project coordinator (60M/M) Heads of faculties (60M/M)  3. Appropriation of local cost for the Project	Counterpart personnel selected will continue to work for the Project.  <b>(Precondition)</b>  a. KMTC maintains policy on capacity building for KMTC teaching staff. b. KMTC maintains policy for strengthening of pedagogical skills and production and dissemination of educational materials

Remarks: (1) Project duration: 1 March, 1998- 28 February, 2003 (2) Implementing Organization: Kenya Medical Training College

*[Handwritten signature]*

**SUMMARY OF ACTIVITIES IN FY1999(REVISED)**

*bas.  
Jicare*

ANNEX 6 [12 March, 1999] No:1

KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE PROJECT

ACTIVITIES ON TSI	PERIOD	DEPARTMENT IN CHARGE	TARGET	ACTIVITY SUMMARY	LOCAL COST SUPPORT
<p>(1) <b>To conduct training of teaching staff in educational methods and production of materials</b></p> <p>1. Identify training needs</p> <p>2. Implement following continuing education programmes on educational methods</p> <p>    a. Middle-level manpower training course</p> <p>    b. Computer training programme</p> <p>3. Implement seminars on educational methods and evaluation</p> <p>4. Implement workshops on production of educational materials</p> <p>5. Implement lecture research</p> <p>6. Evaluate sustainability of continuing education programmes</p>	<p>Completed in FY1998</p> <p>August-December</p> <p>April-March</p> <p>July</p> <p>May-July</p> <p>Implementation in FY2000 and FY2001</p> <p>Implementation in FY2002</p>	<p>Project Implementation Team</p> <p>Project Implementation Team</p> <p>H.R.I., JICA Expert(I.M.)</p> <p>Nursing, JICA Expert(N.E.)</p> <p>M.E., JICA Expert(P.T.M.)</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>K.M.T.C.</p> <p>K.M.T.C.</p> <p>Nairobi, Related Faculties</p> <p>Nairobi, Related Faculties</p> <p>Nairobi, Related Faculties</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>Identification of training needs</p> <p>Research Methodology</p> <p>Computer applications</p> <p>Evaluation on educational methods</p> <p>Printing, Production of AV teaching Material</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>—</p> <p>M.L.M.T. Budget</p> <p>M.L.M.T. and JICA Activities Budget</p> <p>JICA Activities Budget</p> <p>A.V. Budget</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>(2) <b>To review educational curricula in selected fields</b></p> <p>1. Carry out needs assessment/analysis</p> <p>2. Review and update existing curricula</p> <p>3. Implement revised curricula</p> <p>4. Evaluate revised curricula</p>	<p>April-March</p> <p>April-March</p> <p>Implementation in FY2000, FY2001 and FY2001</p> <p>Implementation in FY2000, FY2001 and FY2001</p>	<p>Project Implementation Team</p> <p>Project Implementation Team</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>K.M.T.C.</p> <p>K.M.T.C.</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>Analysis of existing curriculum</p> <p>Review and updating of existing curricula</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>JICA Activities Budget</p> <p>JICA Activities Budget</p> <p>—</p> <p>—</p>

*[Handwritten signature]*



ACTIVITIES ON TSI	PERIOD	DEPARTMENT IN CHARGE	TARGET	ACTIVITY SUMMARY	LOCAL COST SUPPORT
(3) To upgrade teaching staff on research knowledge and skills in selected fields					
1. Carry out needs survey of research training	April-July	Project Implementation Team	K.M.T.C.	Needs survey	M.L.M.T and JICA
2. Plan and implement research training	April-March	Project Implementation Team	K.M.T.C.	Planning and implementation	Activities Budget
3. Report on research training outcome	January-March	Project Implementation Team	K.M.T.C.	Outcome report	M.L.M.T and JICA
4. Establish sustainability of research training	Implementation in FY2002	—	—	—	Activities Budget
(4) To develop and improve educational materials					
1. Carry out needs survey and analysis on educational materials	April-August	Project Implementation Team	K.M.T.C.	Needs survey and analysis	KMTC
2. Acquire reference text books	April-March	Chief Adviser, Librarian Project Implementation Team	Nairobi, Related Faculties	Acquisition of reference text books	Technical Equipment and KMTC
3. Conduct following trainings on production of educational materials					
a. Training on production skills of printing materials	April-March	ME., JICA Expert/P.T.M.	Related Faculties	P.T.M.	JICA Activities Budget and KMTC
b. Training on production skills of A.V. materials	April-March	ME., JICA Expert/P.T.M.	Related Faculties	P.T.M.	A.V. Budget and KMTC
4. Develop and disseminate of educational materials	April-March	ME., JICA Expert/P.T.M.	Related Faculties	Development and dissemination of educational materials	A.V. Budget and KMTC

Notes for the abbreviations: I.M.= Information management  
 N.E.= Nursing education  
 P.T.M.= Production of teaching materials  
 M.L.M.T.= Middle-level manpower training  
 A.V.A.= Audio-visual

ANNEX 7

**LIST OF PARTICIPANTS OF JOINT COORDINATING COMMITTEE MEETING TO BE HELD ON THURSDAY, MARCH 11, 1999.**

<u>No.</u>	<u>Name.</u>	<u>Title.</u>	<u>Organization.</u>
<b>(a) Chairman</b>			
1.	Mr. Chiboli I. Shakaba	Deputy Permanent Secretary – Development	MOH
<b>(b) Members: Kenyan Side</b>			
2.	W. K. Boit	Director	KMTC
3.	Mrs. A. Kimeu	Project Coordinator	KMTC
4.	Mr. P. Tuukuo	Deputy Principal	KMTC
5.	Mrs. M. Ndegwa	Head of Personnel	KMTC
6.	Mr. J. Ombayo	Head of Finance & Accounts	KMTC
7.	Mr. R. Ngetich	Registrar	KMTC
8.	Mrs. G. Koyengo	Head of Faculty, Clinical Medicine	KMTC
9.	Mrs. A. Bwika	Head of Faculty, Nursing	KMTC
10.	Mr. E. Chege	Head of Faculty, Environmental Health Sciences	KMTC
11.	Mrs. M. Kibe	Dep. Head of Faculty, Health Records & Infor.	KMTC
12.	Mrs. C. Nkonge	Head of Faculty, Medical Education	KMTC
<b>(c) JICA Advisory Study Team</b>			
13.	Dr. K. Furuichi	President	National Institute of Public Health
14.	Prof. Y. Hasegawa	Director (Department of International Activities)	International University of Health & Welfare
15.	Ms. R. Aikawa	Associate Expert	Second Medical Cooperation Department, JICA
<b>(d) Members: Japanese Side</b>			
16.	Prof. T. Yamasaki	Chief Advisor	JICA/KMTC
17.	Mr. K. Kanemaru	Project Coordinator	JICA/KMTC
18.	Mrs. I. Seki	Expert, Nursing Faculty	JICA/KMTC
19.	Mrs. Y. Honda	Expert, Health Records & Information Faculty	JICA/KMTC
20.	Mr. Y. Kurashina	Ass. Resident Representative	JICA Kenya Office

**KEY:**

MOH – Ministry of Health

KMTC – Kenya Medical Training College

Dep. Head of Faculty – Deputy Head of Faculty

Health Records & Infor. – Health Records & Information

Ass. Resident Representative – Assistant Resident Representative

*h*

*J.*

*J.K.C.*